



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第26号

2017年6月10日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011年3月11日の東日本大震災より6年以上が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

もとの、今後の取り組みの一層の推進につなげていきたいと思います。

事前の申込み
をお願いします

お知らせ

あいさつ

実践を持ち寄り互いに学び合って！

～真摯な活動も17年目～

あったかウェルねっと相談役 坪井 敏衛
(加須市)

「誰もが地域で幸せに暮らすことのできる社会」のために、一人ひとりの力は小さくとも、実践を持ち寄り互いに学ぶという、あったかウェルねっとの活動も早いもので16年になりました。自負するところがあっても良いのですが、皆さんは謙虚に、かつ更なる課題解決のために研鑽を積み重ねています。一例として昨年度からは「若者への福祉教育研究会」を立ち上げ、未来への種まき、若者力を育てることと共に、若者の福祉課題にも取り組んでいます。若い人たちの参加も多く、頼もしく思っています。他方、「まなびばしゃべりばカフェ」も季節ごとに開かれ、幅広い福祉課題について意見発表・交換の場として定着しています。

また、平成29年度総会では、事業計画や規約改正などあったかウェルねっとの今後のために、出席者一同、慎重審議をいたしたところです。

総会後には、埼玉大学の河村先生をお迎えして、「これからの福祉教育」に向けた研修会も開かれました。継続が大切です。本研修で交わされた議論を

まなびばしゃべりば夏カフェ2017

実践プログラムの導入の工夫

～つかみはOK?!～

日時：平成29年7月1日(土)

時間：13時30分～16時00分(受付13時15分)

場所：ウエスタ川越2階 活動室4

講師：河村美穂氏(埼玉大学教授)

対象：福祉教育推進者や福祉に関心のある方

参加費：200円(茶菓子代を含む)

※学生には補助あり。お申し出ください。

内容：具体的なプログラムの組み方を一から学びましょう。今回は「つかみ」に焦点を当てて、導入部分について分かりやすく学びます。

福祉教育実践を県内に広げよう！

障害当事者等のスキルアップ研修(全2回)

次世代に伝えたい！

一人ひとりを大切に思う福祉観

本講座を受講することで、自らの経験を活かし、学校や地域での講演活動ができるスキルを体得できます。

日時：平成29年8月21日(月)、30日(水)

時間：両日とも 10時00分～15時30分
 場所：ウエスタ川越2階 活動室3、活動室1
 講師：原田正樹氏（日本福祉大学教授）
 鈴木信行氏（患医ねっと代表、日本二分脊
 椎症協会元会長、他）
 対象：主に障害当事者等の福祉教育実践者
 及び実践を予定している方、その他
 参加費：今後決定。お問い合わせください。
 手話通訳・保育あり（どちらも事前の申し込み
 が必要です。）

第1回

8月21日（月）ウエスタ川越2階 活動室3
 (1)講義「福祉教育概論」 講師：原田正樹氏
 (2)演習「福祉教育実践者として大切なもの」
 講師：鈴木信行氏

第2回

8月30日（水）ウエスタ川越2階 活動室1
 講義と演習「福祉教育実践者が大切にしたい
 視点とは」 講師：鈴木信行氏
 障害当事者等の福祉教育実践者として求めら
 れる役割、視点について実践的に学ぶ。

福祉教育実践者たちが、自ら何を伝えるべきか明
 確で共通したビジョンを持ち、地域共生社会の実
 現に向けての視点を共有し合うことで、埼玉県内
 の福祉教育実践者のスキルアップを目指します。

問合せ：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)
 メールアドレス masako@niconico39.net

報 告

5月13日（土）、彩の国すこやかプラザセミナー
 ホールにて平成29年度ねっと総会&研修会が開催
 され、ご来賓の埼玉県社協 地域福祉部長兼ボラン
 ティア・市民活動センター長鈴木隆夫様より、今後
 に向けて心強いお言葉をいただきました。県社協
 はじめ、河村美穂先生、ご参加のみなさま、ご指導
 ご協力ありがとうございました。
 また、原田正樹先生、佐藤陽先生、温かなメッ
 セージありがとうございました。毎年エールをい

ただき、嬉しく有り難く思いながら身の引き締ま
 る気持ちになります。
 皆様、今年度も宜しくお願い申し上げます。
 あったかウエルねっと代表 横田八枝子

報告①

**総会報告～今後に向けて規約を改正
 あったかウエルねっと新たな一歩を！
 ～福祉教育推進者のスキルアップと拡充～**

主な規約改正点（規約より抜粋）

第2条（活動）

ロ）会員及び県民に向けて、福祉教育・ボランテ
 ィア学習実践者養成研修を開催。（活動に追加）
 ホ）関連団体（専・大・企業を追加）

第3条（会員）

1項 会員は、県社協の養成研修を修了した者、
 及び以下の「関連研修」を終了して加入を希望
 する福祉教育推進者をもって構成する。（関連
 研修を追加）

※「関連研修」とは、a) あったかウエルねっと、
 b) 県社協、c) 市町村社協が主催する福祉教育・ボ
 ランティア学習の研修で、合算して概ね15時間
 以上の受講をいう。

以上が今年度からの大きな改正点になります。

今後に向けて、埼玉県での福祉教育推進者の層
 を広げていく時期と捉え、県社協からもご理解い
 ただいて、このような運びになりましたので、み
 なさまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

報告②

交流&研修会報告

**一人一人の想いや実践が生きる！これからの福祉教育
 ～伝えたい！プログラムを作ってみよう～**

総会終了後の11時15分から15時45分は、「身
 近な課題を福祉教育実践にー生活に関心を持ってつ
 なぐー」と題して、河村美穂先生より講義があり、
 ワークショップを交えながら学び合いました。初め
 は6人ずつ、後半は3人ずつの少人数でのグループ
 に分かれて、生活課題を視野に入れた自己紹介ワー

ク、身近な福祉課題や私らしい実践、伝えたいことをうまく伝えるためにどうするか…等々を踏まえて、具体的なプログラムの組み方など、活発な話し合いが展開されました。

導入部分（つかみ）で如何に関心を引き寄せるか、プログラムの構成や体験する事の意味を考合いながら、どのグループも真剣！限られた時間内でのワーク・発表でしたが、具体例も示されて多くのヒントをいただきました。



※この研修は「あったかウエルねっとが主催する福祉教育・ボランティア学習の研修」なので、関連研修の4.5時間分に該当します。

昼食時間(60分間)は、軽食をいただきながら交流と情報交換の時間となり、掲示物を展示しての活動紹介や、情報コーナーに置かれた資料で参加者にアピールしました。



情報提供にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

若福研究会コーナー

昨年、あったかウエルねっと15周年のテーマ「わかもの」を主軸に設立した「若者への福祉教育研究会」が始動しています。研究会では、サービスラーニングの視点を持った6つのプロジェクトチーム（高校、大学、地域あったかウエルねっと、地域ワークキャンプ、精神保健分野、生活困窮等）が、埼玉県発の実践プログラムの「見える化」とブラッシュアップに取り組んでいます。

コンセプトは「若者が主役の共に生きる力を育む」～共生の視点を持った若者力が日本を支える～

☆第4回研究会報告

地域実践

あったかウエルねっと実践プログラム

若福報告

4月9日(日)、東松山市市民福祉センターにて、ミニ講演とあったかウエルねっと実践の「ふくふく木曜会」(3市町村協働実践)報告がありました。

アドバイザー&講師の原田正樹先生(日本福祉大学教授)からの講演「これからの地域共生社会と福祉教育の力」では、共生社会は誰のために必要なのか。まずは「自分」が変わり、次に「地域」が変わり、その先で「社会」が変わっていく。その根っこにあるのは福祉教育であり、今日の3人の報告から、協働実践プログラムの新たな展開を感じた。等々のお話をいただき、37名の参加者は共生社会への熱い想いを共有しました。

「ふくふく木曜会」経過説明と進行：平野早恵さん
報告1「ふくふく木曜会と一緒に開発したプログラム」
☆櫻井栄里さんよりプログラム報告

「発達障害の正しい理解のために願うこと」
☆中島 満さんよりプログラム報告

「車イスユーザーの普段の生活と共生について」
報告2「地域実践プログラム」

☆初雁建司さんより報告 「高齢社会を生きる」

☆第5回研究会を開催します！

地域実践・精神保健実践プログラム(中間報告)

若福お知らせ

日時：6月25日(日)14時00分～16時30分

場所：坂戸駅前集会施設2階集会室

(坂戸駅北口下車徒歩約4分)

テーマ：精神障害者フットサルにおける福祉教育
共同研究者【報告者】

松本すみ子氏(東京国際大学教授&若福研アドバイザー)

岡田隆志氏(埼玉県春日部保健所&精神保健福祉士)

申し込み先

あったかウエルねっと事務局(須田正子)

FAX 049-283-1865 メール masako@niconico39.net

予告

若者への福祉教育研究会の全体会として、9月24日(日)「(仮称)若者の集い」を開催します。

県社協からの情報

県社協では、今年度、地域住民が「我が事」として地域づくりに参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」繋がることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現を図るために下記の事業に取り組みます。

- ◆生活支援サポーター養成事業
- ◆共生・共助つながりづくりシンポジウム
- ◆福祉教育推進者研修
- ◆福祉教育プログラム検討
- ◆小中学生作文コンクール
- ◆ボランティア体験プログラム事業
- ◆ヤングボランティア交流事業 等

今年度も引き続き、推進員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします

福祉研修センターよりお知らせ

“地域福祉活動推進者研修”を開催します。
※有料研修になります(1テーマにつき2,000円)

8/2(水)	会場：彩の国すこやかプラザ	10:00～12:00 テーマ1「依存症とは何か」
		13:00～15:00 テーマ2「依存症との関わり方」
8/3(木)	2階研修室	10:00～12:00 テーマ3「認知症体験と理解」
		14:00～16:00 テーマ4「地域で支える発達障害児とその家族」
8/10(木)	2階研修室	10:00～12:00 テーマ5「地域ぐるみで犯罪や虐待から子供を守るには」
		13:00～15:30 テーマ6「視覚障害者の理解」

詳しくは、本会HP [埼玉玉県社会福祉協議会 福祉の研修](http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/welfare/study/)
<http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/welfare/study/>

事務局情報

若者への福祉教育研究会の情報も

平成28年度に発足した若者への福祉教育研究会と協働しながら「若者と福祉」を研究しています。

3ページ「若福研究会コーナー」でもお伝えしていますが、詳細はホームページをご覧ください。

若者への福祉教育研究会HP

<http://wakafukuken.wixsite.com/saitama>
フェイスブックのグループページ

<https://www.facebook.com/wakafukuken>
学習会や研究会が順次行なわれます。関心のある方ならどなたでも。どうぞご参加を！

メーリングリストで情報を

「あったかウエルねっとML」「若者への福祉教育研究会ML」と、二つのメーリングリストが動いています。会員・賛助会員の方でメールアドレス(携帯も可)をお持ちの場合、メーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス: masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

振込先: 埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号: 5015782

名義: 彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

新しい年度が始まりました。規約が改正されて、ねっと主催の研修会などの企画も進んでいます。今からご予定に入れて戴き、是非ご参加ください。県内の福祉教育実践の情報を共有したり、学び合ったり。これまでの活動を礎に、まずは出会って、みんなでスキルアップ！

皆さまからの情報もお待ちしています。

発行: 彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク (通称: あったかウエルねっと)
編集: あったかウエルねっと (情報担当)
連絡先: 埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課
TEL: 048-822-1435
FAX: 048-822-3078
Mail: vc@fukushi-saitama.or.jp